

平成31年度(2019年度)新学術領域研究(研究領域提案型)(終了研究領域)研究計画調査書

XX年XX月XX日

1版

研究区分	終了研究領域	機関・領域・研究項目・整理番号	00000-0000-000-0000				
研究課題番号	00000000						
研究領域	領域番号	領域略称名					
研究項目番号							
研究代表者氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究経費 〔千円未満の端数は切り捨てる〕	年度	研究経費(千円)	使用内訳(千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	平成31年度						
	平成32年度						
	総計						
関連研究分野(小区分)		(1)			(2)		
	小区分						
	小区分名						
開示希望の有無							
研究代表者連絡先	〒 (住所)						
	電話番号：		Fax番号：				
	Email：						

計画概要

(1) 研究成果取りまとめの目的等

新学術(終了)-2 (研究成果取りまとめの目的)、3 (平成30年度までの研究経過)、4 (平成30年度までの研究の評価)の内容を簡潔にまとめて記述すること。(1/2 頁程度。「平成31年度の研究成果取りまとめの計画・方法等」と合わせて1頁以内)

(2) 平成31年度の研究成果取りまとめの計画・方法等

新学術(終了)-5 (平成31年度の研究成果取りまとめの計画・方法)の内容を簡潔にまとめて記述すること。(1/2 頁程度。「研究成果取りまとめの目的等」と合わせて1頁以内)

研究成果取りまとめの目的

本欄には、研究成果取りまとめの全体構想及び具体的な目的について具体的かつ明確に記述すること。

平成30年度までの研究経過

研究の進展状況、新たに得られた知見を記述すること。

平成30年度までの研究の評価

本欄には、当初に計画した研究目的、研究計画・方法に対する達成度について、次の点に焦点を絞り記述すること。

- ① 研究遂行上で生じた問題点等
- ② 過去に受けた中間評価の所見及びその対応状況等

平成31年度の研究成果取りまとめの計画・方法

本欄には、平成31年度の具体的な研究成果取りまとめの計画・方法について、具体的かつ明確に記述すること。ここでは、当初計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、計画を遂行するための体制について、研究分担者とともに計画である場合は、研究代表者及び研究分担者の具体的な役割 (図表を用いる等)、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても記述すること。

また、体制の全体像を明らかにするため、研究協力者 (海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等 (氏名、員数を記入することも可)) の役割についても記述すること。

さらに、本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等についても記述すること。

研究成果の発表状況

この研究領域の成果に関して、学術誌等に発表した論文(著者名、論文名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年)及び学会等における発表状況及び社会・国民への発信状況について主なものを記述すること。なお、どの著者が研究領域に参画しているのか分かるように、研究代表者には二重下線を、研究分担者には一重下線を引いてください。また、corresponding author には左に*印を付けること。

人権の保護及び法令等の遵守への対応 (公募要領 4 頁参照)

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等 (国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む) に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1 頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査 (個人履歴・映像を含む)、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

